

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	森林研究所		所在地	勝田郡勝央町植月中1001		
敷地面積	530,318.83 m ²		棟数	36 棟 (計画記載対象 19 棟)		
延床面積	4,266.48 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	森林・林業・木材加工に関する試験研究を行い林業・木材産業の発展と森林のもつ多面的な機能の持続的な発揮に資するために設置。					
【想定される自然災害】						
予想震度 震度5弱 津波 ー 浸水 ー						
建築規制	都市計画区域外					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 58,158 kwh	ガス 42 m ³	水道 1,135 m ³	燃料(灯油) 1,600 ㍓		
管理上の特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし					

1 施設内建物の概況

名 称	事務所本館	生物工学研究室	林業技術実習舎
築年(西暦)	1971 年	1992 年	1979 年
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	390.65 m ²	234.64 m ²	224.00 m ²
延床面積	748.80 m ²	234.64 m ²	224.00 m ²
主要な用途 (室名等)	執務室 4室 会議室 1室 実験室 9室	実験室等 234.64m ²	実習室 資料準備室 機械室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 空調設備(エアコン) 給排水設備(給湯器) 浄化槽 電話交換機 照明設備	電力設備(受変電設備) 空調設備(エアコン)	
利用状況	中	中	低
耐震性 ※1	無	有	/
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	/
	中性化 ※3	適	/
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備(給湯器)	屋根	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	研修宿舎(那岐寮)	研修宿舎(那岐寮浴室)	研修宿舎渡廊下
築年(西暦)	1953年	1953年	1954年
構造	木造1階	木造1階	木造1階
建築面積	250.8 m ²	46.76 m ²	13.2 m ²
延床面積	250.8 m ²	46.76 m ²	13.2 m ²
主要な用途 (室名等)	宿泊室10畳 5部屋 談話室15畳 食堂、調理室	男女浴室 男女トイレ	渡廊下
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	低	低	低
耐震性 ※1			
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	屋根 外壁	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	林業普及展示館	椎茸乾燥舎	車庫
築年(西暦)	1958年	1958年	1959年
構造	木造 1階	木造 1階	木造 1階
建築面積	102.91 m ²	69.56 m ²	16.52 m ²
延床面積	102.91 m ²	69.56 m ²	16.52 m ²
主要な用途 (室名等)	展示室 休憩室 展示コーナー	椎茸乾燥室 堆肥舎	資材置き場
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	低	低	低
耐震性 ※1			
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根 外壁	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	昆虫飼育室	薬品庫	栗作業場
築年(西暦)	1966年	1969年	1971年
構造	木造1階	コンクリートブロック造1階	木造1階
建築面積	28.00 m ²	5.44 m ²	21.28 m ²
延床面積	28.00 m ²	5.44 m ²	21.28 m ²
主要な用途 (室名等)	昆虫飼育室	薬品庫	栗関係資材置き場
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	低	低	低
耐震性 ※1			
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	屋根 外壁	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	楯化室	発生室	浸水施設
築年(西暦)	1979年	1979年	1979年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	72.00 m ²	71.23 m ²	8.36 m ²
延床面積	72.00 m ²	71.23 m ²	8.36 m ²
主要な用途 (室名等)	椎茸楯化室	椎茸発生室	椎茸楯木浸水施設
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	低	低	低
耐震性 ※1			
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	屋根 外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	シイタケハウス	機械格納庫	林業技術研修棟1
築年(西暦)	1984年	2001年	2021年1月
構造	木造1階	木造1階	木造1階
建築面積	60.00 m ²	62.16 m ²	281.53 m ²
延床面積	60.00 m ²	62.16 m ²	267.47 m ²
主要な用途 (室名等)	シイタケハウス	機械格納庫	研修室(大)1室 267.47m ²
主要な設備 (屋外を含む)			照明設備 消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	低	低	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	林業技術研修棟2	
築年(西暦)	2021 年1月	
構 造	木 造 1 階	
建築面積	322.99 m ²	
延床面積	286.00 m ²	
主要な用途 (室名等)	研修室(小) 1室 88m ² 事務室 1室 60m ² 就職相談室 1室 18m ²	
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備(エアコン) 給排水設備(給湯器) 浄化槽 照明設備 電話交換機	
利用状況	高	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	/
	中性化 ※3	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

事務所本館は耐震性がなく老朽化が進んでいるため、耐震補強を行い使用を継続する。
生物工学研究室は使用を継続する
林業技術実習舎ほか9棟は老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
研修宿舎(那岐寮)ほか4棟は老朽化が進んでいるため取り壊し、新たな行政需要に対応するため跡地を活用する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
事務所本館	・耐震改修を実施するとともに外壁の改修を行う ・電力設備(高圧受電設備)を更新する。電力設備の更新にあわせ電力設備が設置されている屋上の補強を行う。 ・照明設備を蛍光灯からLED化する ・老朽化した電話交換機を更新し、あわせて電話機を更新する。
生物工学研究室	・屋根の改修を行う。
林業技術実習舎	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
研修宿舎(那岐寮)	・老朽化が進んでいるため取り壊し、新たな行政需要に対応するため跡地を活用する。
研修宿舎(那岐寮浴室)	・老朽化が進んでいるため取り壊し、新たな行政需要に対応するため跡地を活用する。
研修宿舎渡廊下	・老朽化が進んでいるため取り壊し、新たな行政需要に対応するため跡地を活用する。
林業普及展示館	・老朽化が進んでいるため取り壊し、新たな行政需要に対応するため跡地を活用する。
椎茸乾燥舎	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
車庫	・老朽化が進んでいるため取り壊し、新たな行政需要に対応するため跡地を活用する。
昆虫飼育室	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
薬品庫	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
栗作業場	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
楢化室	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
発生室	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
浸水施設	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
シイタケハウス	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
機械格納庫	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
林業技術研修棟1(R3.1新築)	・予防保全を図る。
林業技術研修棟2(R3.1新築)	・予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 設備等更新 劣化が進んでいる設備等について、耐震改修とあわせて行う。
2 耐震改修 2019年 実施設計 2020年施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026		
事務所本館	耐震改修			設計	施工	耐震改修、 外壁改修 高圧受変 電設備、 照明機器、 電話交換 機							
	耐震改修とあわせて行う 長寿命化等 (中性化対策など)												
	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)												
生物工学研究室	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)				屋根								
林業技術実習 舎ほか9棟	廃止			用途 廃止 除却									
研修宿舎(那岐 寮)ほか4棟	廃止			用途 廃止 除却									
林業技術研修 棟1(R3.1新築)	予防保全					予防保全を図る。							
林業技術研修 棟2(R3.1新築)	予防保全					予防保全を図る。							

4. 概算費用

--

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.3	林業技術研修棟1 (R3.1新築) 及び林業技術研修棟2 (R3.1新築) を追加